

仕様書

本仕様書は、大阪市消防局（以下「当局」という。）が利用する次のサービスについて適用する。

1 件名

法令及び判例検索オンラインサービス利用（その2）

2 数量（ユーザーID数）

1 ID

3 サービス仕様の概要

受注者から付与されたIDを用いて、当局職員がWeb上で法令又は判例について目次、用語入力等により検索し、その結果として表示された法令又は判例の閲覧、印刷等を行うことができるもの

4 履行期間

令和8年4月1日～令和9年2月28日

5 サービス仕様の詳細

- (1) 法令については、現行の憲法、法律、政令、府令、省令並びに国の各機関の規則及び告示が収録されていること。
- (2) 判例については、裁判所ホームページの裁判例情報のほか、公的・私的に刊行された各主要判例集に掲載されているものが網羅的に収録されていること。
- (3) 法令及び判例の収録内容については、法令の制定・改廃や判例の追加等に伴ってタイムリーに更新されていること。
- (4) 各法令・判例については、全文の閲覧、テキストコピー及び印刷が可能であること。また、法令については、全文又は指定した部分を編集可能な形式（Wordファイル等）によりダウンロードすることも可能であること。
- (5) 法令検索に関しては、少なくとも次の機能を有していること。

ア 体系別目次による検索機能

イ 件名又は本文にかかる用語入力による検索機能。なお、検索条件の指定について次の機能を含むこと。

（ア）年月日を指定して検索することにより、その時点の当該法令の条文を表示する機能

（イ）複数の用語入力により検索条件を絞り込み（and）、拡張（or）し、除外（not）し、又はそれらを組み合わせて検索する機能

（ウ）法令の区分（例：法律、政令、府省令）又は法令番号を指定して検索する機能

ウ 公布日又は施行日を指定して検索する機能

エ 表示している法令に引用されている法令へのリンク機能（条項単位でのリンクで、略称表記にも対応すること。）

(6) 判例検索に関しては、少なくとも次の機能を有していること。

ア 用語入力による検索機能。なお、検索条件の指定について次の機能を含むこと。

(ア) 複数の用語入力により検索条件を絞り込み（and）、拡張（or）し、除外（not）し、又はそれらを組み合わせて検索する機能

(イ) 裁判年月日又は事件番号を指定して検索する機能

(ウ) 裁判所の区分（例：最高、高等、地方）又は名称（例：大阪、東京、名古屋）を指定して検索する機能

イ 検索の結果として示された各判例の要旨を表示する機能

ウ 表示している判例で引用された判例へのリンク機能

エ 表示している判例の上級審又は下級審の判例へのリンク機能

(7) (参考) 上記仕様を満たすサービスの例

・ トムソン・ロイター株式会社「Westlaw Japan Basicパッケージ」

・ 株式会社TKC「TKCローライブライマー」

・ 第一法規株式会社「D1-Law.com」

なお、これらと同等のサービスを可とする。

6 その他

(1) 応札に当たっては本仕様書を十分検討し、疑義ある場合（同等サービスの可否含む）は、質問受付期間内に指定の方法により質問し、その内容を熟知のうえ応札するものとする。質問期間経過後の疑義については受付しない。なお、契約後における本仕様書上の疑義は当局の解釈によるものとする。

(2) 担 当

総務部総務課（法務） 電話 06-4393-6073

暴力団等の排除に関する特記仕様書

1 暴力団等の排除について

- (1) 受注者（受注者が共同企業体であるときは、その構成員のいずれかの者。以下同じ。）は、大阪市暴力団排除条例（平成23年大阪市条例第10号。以下「条例」という。）第2条第2号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は同条第3号に規定する暴力団密接関係者（以下「暴力団密接関係者」という。）に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をしてはならない。
- (2) 受注者は、条例第7条各号に規定する下請負人等（以下「下請負人等」という。）に、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をさせてはならない。
また、受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をした場合は当該契約を解除させなければならない。
- (3) 受注者は、この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から条例第9条に規定する不当介入（以下「不当介入」という。）を受けたときは、速やかに、この契約に係る本市監督職員若しくは検査職員又は当該事務事業を所管する担当課長（以下「監督職員等」という。）へ報告するとともに、警察への届出を行わなければならない。
また受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から不当介入を受けたときは、当該下請負人等に対し、速やかに監督職員等へ報告するとともに警察への届出を行うよう、指導しなければならない。
- (4) 受注者及び下請負人等が、正当な理由なく本市に対し前号に規定する報告をしなかったと認めるときは、条例第12条に基づく公表及び大阪市競争入札参加停止措置要綱による停止措置を行うことがある。
- (5) 受注者は第3号に定める報告及び届出により、本市が行う調査並びに警察が行う捜査に協力しなければならない。
- (6) 発注者及び受注者は、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者からの不当介入により契約の適正な履行が阻害されるおそれがあるときは、双方協議の上、履行日程の調整、履行期間の延長、履行内容の変更その他必要と認められる措置を講じることとする。

2 誓約書の提出について

受注者及び下請負人等は、暴力団員又は暴力団密接関係者でない旨の誓約書を提出しなければならない。ただし、発注者が必要でないと判断した場合はこの限りでない。

特記仕様書

（条例の遵守）

第1条 受注者及び受注者の役職員は、当該業務の履行に際しては、「職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例」（平成18年大阪市条例 第16号）（以下「条例」という。）第5条に規定する責務を果たさなければならない。

（公益通報等の報告）

- 第2条 受注者は、当該業務について、条例第2条第1項に規定する公益通報を受けたときは、速やかに、公益通報の内容を発注者（消防局企画部企画課）へ報告しなければならない。
- 2 受注者は、公益通報をした者又は公益通報に係る通報対象事実に係る調査に協力した者から、条例第12条第1項に規定する申出を受けたときは、直ちに、当該申出の内容を発注者（消防局企画部企画課）へ報告しなければならない。
- 3 発注者と本契約を締結した受注者は、この契約の履行に関して、発注者の職員から違法又は不適正な要求を受けたときは、その内容を記録し、直ちに発注者（消防局企画部企画課）に報告しなければならない。

【消防局企画部企画課 連絡先：06-4393-6207】

（調査の協力）

第3条 受注者及び受注者の役職員は、発注者又は大阪市公正職務審査委員会が条例に基づき行う調査に協力しなければならない。

（公益通報に係る情報の取扱い）

第4条 受注者の役職員又は受注者の役職員であった者は、正当な理由無く公益通報に係る事務の処理に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

（発注者の解除権）

第5条 発注者は、受注者が条例の規定に基づく調査に正当な理由なく協力しないとき又は条例の規定に基づく勧告に正当な理由なく従わないときは、本契約を解除することができる。

（発注者：大阪市 受注者：請負者）

生成 AI 利用に関する特記仕様書

受注者又は指定管理者（再委託及び再々委託等の相手方並びに下請負人を含む）が生成 AI を利用する場合は、事前に発注者あて所定様式により確認依頼をし、確認を受けるとともに、「大阪市生成 AI 利用ガイドライン（別冊 業務受託事業者等向け生成 AI 利用ガイドライン第 1.1 版）」に定められた以下の利用規定を遵守すること。

生成 AI の利用規定

- 生成 AI を利用する場合は、利用業務の内容、利用者の範囲、情報セキュリティ体制等及び利用規定の遵守・誓約内容を事前に所定様式※により発注者宛に確認依頼をし、確認を受けること。
※ 所定様式は大阪市ホームページからダウンロードできます
<https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000623850.html>
- 前記確認内容に変更等が生じた際には変更の確認依頼をし、確認を受けること。
- 生成 AI は、受注者又は指定管理者の業務支援目的に限定し、市民や事業者向けの直接的なサービスには利用しないこと。
- 画像及び動画の生成 AI サービスを利用する場合は、利用者が生成物を利用する際に他者の著作権を侵害しないよう選別したコンテンツで AI モデルの学習をしているサービスを利用することを原則とする。ただし、当該要件に該当しないサービス又は該当するか不明のサービスを利用する場合は、生成内容が既存著作物との類似性や無許諾での依拠がないことを確認し、かつ、成果物として利用する際は発注者の同意を得ること。
- インターネット上の公開された環境で不特定多数の利用者に提供される定型約款・規約への同意のみで利用可能な生成 AI の利用を禁止する。
- 生成 AI 機能が付加された検索エンジンやサイトは、一般的にインターネットで公開されている最新の情報を検索する目的でのみの利用とし、生成 AI による回答を得る目的での利用を禁止する。
- 生成 AI を利用する場合は、入力情報を学習しない設定（オプトアウト）をして利用すること。
- 契約又は協定の履行に関して知り得た秘密及び個人情報の入力を禁止する。
- 著作権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利を侵害する内容の生成につながる入力及びそのおそれがある入力を禁止する。
- 生成・出力内容は、誤り、偏りや差別的表現等がないか、正確性や根拠・事実関係を必ず自ら確認すること。
- 生成・出力内容は、著作権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利の侵害がないか必ず自ら確認すること。
- 生成・出力された文章は、あくまで検討素材であり、その利用においては、受注者又は指定管理者が責任をもって判断するものであることを踏まえ、加筆・修正のうえで使用すること。
- 生成・出力内容は、上記に定める正確性の確認等を経たうえで、加筆・修正を加えずに利用（公表等）する場合は、生成 AI を利用して作成した旨を明らかにして意思決定のうえで利用すること。
- 情報セキュリティ管理体制により、利用者の範囲及び利用ログの管理などにより情報セキュリティの確保を徹底して適切に運用すること。